

## 保育計画成果報告書

|         |                |
|---------|----------------|
| 法人名等    | 学校法人 葵学園       |
| 施設名     | 函館あおい認定こども園    |
| 報告者（役職） | 和泉 陽子（園長）      |
| 住所・連絡先  | 函館市美原2丁目46番10号 |
|         | ☎ 0138-46-1008 |

### ○タイトル（保育計画）

みんな大好き！あおいランド ～心と体が元気に育つ園庭遊び～

### ○主な助成備品

- ・二人乗りブランコ一式
- ・ステンレス製、三間低鉄棒

## 1. 保育計画策定の目的

当園はこの地に於いて「函館あおい幼稚園」として、40年間子どもたちの保育にあたって参りました。園舎を新築し、平成31年4月、幼保連携型認定こども園として名称も「函館あおい認定こども園」となり、新たなスタートを致しました。

園には約1,477㎡にわたる広い園庭があり、子どもたちがのびのびと体をいっぱい使って遊ぶことのできる環境に恵まれております。子どもたちはこの園庭のことを「あおいランド」と呼んでおり、親しみをもちながら毎日元気に過ごしております。遊びの中から様々なことを経験・体験し、人とかかわりや学びに結び付けていくことができるような保育を、日々心がけてすすめております。

そのような環境の中、現在もなお、園庭環境の整備中の状況にあり、特に子どもたちの「手の力・腕の力・バランス感覚」が育つ遊具を設置したいと考え、今回の申請をさせていただきます。

近年、子どもたちとかかわる中で「体の使い方・体力の減少」など、変化している姿が顕著に表れていると感じております。日々の遊びの中から、成長に働きかけられるような保育を行いたいと、常に課題として取り組んで参りました。そして様々な遊具や遊びに触れ、子どもたちの心と体を育てる園庭遊びの充実を図りたいと願っております。

また、認定こども園となり、地域の親子もたくさん遊びに来てくださるようになりました。地域の子どもの育成のためにも、安心・安全に楽しく遊ぶことができる、園庭環境の充実を図りたいと考えております。



## 2. 具体的な実施内容

子どもたちが待ちに待った、遊具が設置されました。新しい遊具には、楽しく安全に遊ぶためにもルールがあります。初日は、新しく設置された「鉄棒・ブランコ」のお披露目と、実際の遊具を前にして、各学年がそれぞれ集まり、遊び方のルールをみんなで確認しました。

### 【鉄棒の握り方・ブランコの乗り方・待ち方などを確認してみよう！】

鉄棒の握り方には「順手・逆手」の方法があり、その時の遊び方によって握り方がそれぞれ異なりますが、まずはしっかりと親指を鉄棒に回して掴むことをみんなで確認しました。同様にブランコの持ち手の掴み方、各遊具で遊ぶ時の並び方も確認し、一人ひとりが正しい使い方楽しく安全に使うことができるように確認をしました。

また、どんなことが危険なことにあたるのかをみんなで考え、子どもたちから意見を出し、話し合いを行いました。「遊んでいる友達に近づいたり、触ったりしない」「遊んでいる近くを通ったら危ない」など、自分たちが見て感じたことや、考えられることをそれぞれ伝え合っていました。

子どもたちは新しい遊具に触れ、これからたくさん遊べることに、喜びと期待でいっぱいの様子でした。



### 【鉄棒で遊んでみよう！】

実際に触ってみて、感触を楽しんだりぶら下がったり、チャレンジしてみました。みんな一列に並んでぶら下がり競争をしたり、お猿さんのように鉄棒にぶら下がってみたりと、それぞれがやってみたいことを楽しんでみました。

また、だんだんと慣れてきた頃から、違う技として「つばめのジャンプ（おなかで鉄棒に乗る）」「豚の丸焼き（全身を使って鉄棒にしがみつきぶら下がる）」「こうもり（鉄棒を握り、逆さまでぶら下がる）」などを楽しむ姿も見られてきました。

友達と新しい技を見せ合う姿や、仲間や小さい組の友達に教え合う姿もあり、それぞれの成長に合わせた遊びの様子が見られました。



### 【ブランコの漕ぎ方を工夫してみよう！】

「ブランコを上手に漕ぐことができる子」「なかなかコツがつかめずに、何度も挑戦する子」「上手いかわなくて、興味があるのに諦めてしまう子」など、様々な様子が見られました。何度か行っていくうちに、「しっかり握らないと、力が入らない」「ブランコが前に上がった時に、足を前に出す。後ろに下がった時に、ひざを曲げるとできる」と、具体的なコツがわかり、声に出して遊んでいる年長児の姿がありました。遊びの中で少しずつかわり挑戦していくうちに、自然と感覚を掴み、自分のものにできる子どもたちの姿がありました。





### 3. その成果と評価

以前は鉄棒というと、「公園で遊んでみたけど、ちょっと苦手…」「上手くいかない。難しい…。」という子どもたちの声が、多かったような気がします。

今回、みんなの大好きな園庭「あおいランド」に新しく鉄棒が仲間に入り、日々の遊びの中で自然に触れることができ、次第に苦手意識もなくなり「難しかったけれど、挑戦してみたい！」という意欲にも結びつくことができました。また、諦めない心で何度も挑戦する姿、友達に優しく教えてあげる姿など、人と人とのつながりにも大きく影響があったと思います。「できるようになったという達成感」「友達ができるようになったことを一緒に喜べる気持ち」など、様々な思いが成長につながりました。

子どもたちにインタビューをする機会があり「チャレンジしたいことは？」の内容に対して、「鉄棒で逆上がりができるようになりたい！」「地球回りができるようになりたい」など、以前ではあまり出たことのなかった言葉や、気持ちの変化も見られました。



### 4. 今後の課題と展望

子どもの遊び（生活）には「生きる力」の基礎となる、様々な育ちがあると考えております。一人ひとりの遊びや思いを大切に、子どもたちが直接肌で感じる体験遊び・経験と、よりよい環境作りの保育をこれからもすすめていきたいと考えております。

今回、子どもたちの日常の遊びの経験や積み重ねがとても大切であることを、改めて気づくことができました。その時の子どもたちの年齢・時期・発達の状況を考慮し、これからも楽しく積極的に運動遊びができるような環境作りと計画をたて、継続的にすすめていくことができるよう、これからも努めたいと思います。

以上